

ローカル発・シニアのための最新情報

スポーツも人生も後半戦がおもしろい・伝えようアロハの心

発行：ハワイシニアライフ協会 (HISLEA)

Hawaii Senior Life Enrichment Association

Eメール: info@hawaiiseniorlife.org Tel: (808)428-5808 Fax: (808)396-1140 住所: P.O. Box 8232, Honolulu, HI 96830

「ハワイ便り」は毎月5日発行です。諸般の事情により2〜3日前後する場合がありますのでご了承ください。

FACEBOOKでも写真や情報を更新しています。会員同士の交流に、ウェブサイトの「HISLEA広場」をぜひご活用ください。

Eメールアドレス、住所等の変更がありました場合は、必ずご連絡くださいますようお願いいたします。

ハワイ便り100号記念に寄せて

石毛克祐さん(前・常務理事)

長年、ハワイシニアライフ協会の「ハワイ便り」編集者として貢献してくださった石毛克祐さんが、この度ご勇退され、奥様と日本にご帰国されることとなりました。石毛さん、長い間本当にお疲れさまでした。ありがとうございました!! (管理人より)

「ハワイ便り」の創刊から7年間編集を担当しました私に、一言書いてほしいとの依頼を、現在編集を担当している管理人さんよりいただきました。裏話を含めて、思い出すままにいくつか書いてみたいと思います。

2007年当時、団塊世代の定年を迎えて、これからますます増えるであろう日本からの長期滞在をされる方々に、本当のハワイの魅力を楽しんでいただくため、ハワイ在住の日本人としてお手伝いできることがあるのではないかと、坂井さん(会長)、梨本さん(副会長)、野田さん(専務理事)を中心として10人ぐらいの人たちが半年間ほど議論をした結果としてハワイシニアライフ協会が誕生しました。「ハワイ便り」創刊は2007年11月でした。今年の2月号が100号ということで、8年4ヶ月が経ったこととなります。坂井会長より会報発行の任命が私にあり、それから2014年まで7年間担当させていただきました。

発行に当たり、私はともかく読みやすくするために、まず形式の原則を決め、それを守ることを心がけました。会報を郵送でご希望の方がおりましたので、白紙ページを出さないよう偶数ページにすること、郵送費を勘案して原則8ページで構成することなどを決めました。ウェブ・メールのみでしたら気にならない情報量も、8ページの紙面に収めるためにはある程度の制限が出てきます。余白を作らず、文章が不自然にならないように添削して、収める作業はちょっとしたゲームのようであうまく行った時は小さな快感を覚えたものです。それから、文章もたくさんの会員の皆様から投稿いただきますと、当然文体がそれぞれ違ってきます。これもやはりある程度そろえませんか「会報」としては読みにくくなります。しかし、あまりいじってしまいますと、書いた方の本来の気持ちが伝わりにくくなってしまうこともあるので、編集に苦しみ、そして楽しみました。7年間で使った写真で一番の傑作は、クリスマスパーティでの全員集合写真ではないかと思っています。紙面の左右一杯に大きなパノラマ写真にしました。まさに、「シニアの青春」という雰囲気の説明抜きで伝わったのではないのでしょうか。当協会のホームページのトップもこのクリスマスのパノラマ写真が使われています。そのほかの写真では、セスナ機の操縦に挑戦した五味さんと奥様のコクピットの写真、サーフィンにチャレンジした木下さんのサーフボードに立った雄姿、それから、私が担当していた数々のハイキングの写真なども、普通の観光にはないハワイ魅力を感じていただけたのではと思っています。毎年、新年号も、10月頃から頭の中で写真とメッセージの構想を練ったことも思い出されます。

私事ですが、私と家内(ラハイナ生まれ)は長年横浜に住んでいたのですが、ホノルルに住む家内の両親の世話をするために2003年にハワイへ来ました。昨年義母が91歳で天寿を全うしましたので、3月に家内の大好きな日本に戻ることにしています。会員の皆様の「ハワイ便り」「イベント予定」ハイキング等へのご支援に心より感謝申し上げます。



大成功の「HISLEA Winter Seminar - Culture & Sports」

2月9日(火)～2月15日(月)

新春ゴルフ大会 2月9日(火)

関玲子さん(新潟支部会員)－

Waialeale Country Clubで第4回ヒスレア新春ゴルフ大会が催されました。当日は1月に入ってから続く晴天と爽やかな風が心地よい最高のゴルフ日和となりました。私と群馬支部の徳江道代さんは受付ボランティアを担当し、参加者は地元、日本から総勢38名、スタート前にはデビット石井プロのミニレッスンが行われました。レッスンは多くの方が参加され、予定の30分を大幅に超えてしまいました。その後にサイン会があり、サイン用マジックインクが不足するほどの人気でした。残念ながら怪我で当日参加出来なかった坂井会長の代行として、私の夫、関利明大会委員長の挨拶に始まり、塚原勉幹事のルール・注意事項説明により、スタートは18番ホールから4番ホールを使ったショットガン方式でされました。全てのパー3にはニアピンが出されておりましたが、アウトの2ホールには半ピン以内にニアピンフラッグが既に刺してあり、とても狙うのもおこがましい高レベルでした。インに入り11番パー3ホールはレギュラーティーからセンターまで170ヤードですが、当日は手前に切ってありました。しかしニアピンフラッグらしき姿はグリーン上にも脇にも見えず、怪訝に思いながらグリーンに行くと(ちなみに我が組は誰もグリーンに乗らず)、ホールインワンと書かれたニアピンフラッグがホールに刺してあるのです!なんと広島からの山口英實さんがホールインワンを出されていたのでした(ちなみに私はヒスレア新潟県支部のコンペで同伴者のホールインワンを経験しております)!!当日の我がスコアは全く絶不調ではありましたが、大会でのホールインワン発生という幾分かの興奮感でプレーを終え表彰式が始まりました。参加者の自己紹介、山口さんのホールインワンの感想を聞いているうちに成績表が参りました。飛び賞、ブービー、5位、4位、3位、準優勝、優勝者が発表されました。優勝者は広島からの三上主樹さんと何とグロス66というハイスコアで、ヒスレアもハイレベルになったのは驚きでした。大会会長の坂井会長が怪我のために参加されませんでしたが、サイン入り帽子を、また、石毛克祐前理事が2月で日本に帰られるとのことで参加して下さい、プロのレッスンビデオとハワイの美しい写真パネルを寄付してくださいました。じゃんけんでそれらの争奪戦が



行われ、年を忘れひと時盛り上がり、会は終了となりました。坂井会長が、このようなハイレベルの大会に参加できなかったことは、誠に残念で、会長自身が最も慚愧な思いでおられたでしょうが、早期にリハビリを終えいつもの笑顔で、行事を盛り上げてくださることを願っております。尚、本大会で日本からの参加者もお手伝いをとのことで、日本会員もハワイ長期滞在中にできる範囲で、ホノルル支部の皆様のお手伝いすることも意義あることと実感いたしました。

ハワイの医療事情 2月10日(水)

後藤毅男さん(理事)－アラ

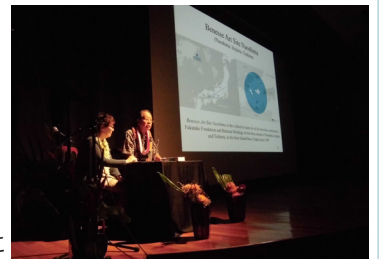
モアナビル20階の聖ルカ・クリニックで「ハワイの医療事情」というテーマでセミナーが行われた。17名の会員の方が参加された。説明会は二部構成で、一部は西村ちえさん(NP)がクリニック内の施設ツアー、二部は質疑応答で小林院長先生が対応してくれた。参加された皆さんからは概ね、「参加してよかった」とのコメント。日本から長期滞在中の徳江道代さんは「講演会かなと思っていたら違っていたのであれ?とは思いましたが色々の質問に答えていただき、あの方が参考になりました。今後はハワイでの医療関係の事例などを話していただき、我々に危機感を与えていただければもっと良いかと思います。聖ルカ・クリニックを知れてよかったです。院長先生にハワイにロングステイする日本人に対し今後もサポートをお願いしたいです。」また、ハワイ在住の岩下洋子さんは「私は去年の夏頃から聖ルカ・クリニックにお世話になっております。しかし毎年一度の健康診断や予防注射だけです。今回、ロングタームケアのことや訪問診療、それに将来は在宅介護の面も念頭に入れているというお話を伺って、とても心強く感じました。日頃お忙しい小林先生から今回のようにゆっくりお話を伺う機会をつくってくださったことを感謝いたします。ありがとうございます。」参加者の皆さんは満足して帰られた。



福武總一郎氏ハワイ特別講演会 2月10日(水)

西村洋志さん(会員)－ホノル

ル美術館－ドリス・デューク・シアターにて、200名以上の参加者が来場した福武總一郎氏・株式会社ベネッセホールディングス最高顧問の講演会を聞きました。「直島の奇跡－現代アートによる地上の極楽の創り」と題した講演会でしたが、私の義母が以前直島とその他の島々を訪れて「素晴らしかった、感動した」と感想を語っていたので、どういう場所なのだろう、と前々からとても興味を持っておりました。講演会では島々に展開する現代アートの無数の写真に見とれていました。何か非現実的な場所というイメージでしたが、その島々で生活している人たちと現代アートが融合しており、また島々を訪れる人々と生活をしている人たちとの交流もあるということでした。講演会を聞いた後、あの幻想的な景観の数々にますます興味を持ち、いつか絶対に行くと心に決めました。



2月9日(火)～2月15日(月)

感動のホノウリウリ見学ツアー 2月11日(木)

野田省三さん(理事) — 午前8時

にアラモアナホテル前から専用小型バス2台で32名のメンバーとそのゲストは、ボランティアガイド6名と共に、快晴の天候に恵まれて、ホノウリウリ地区に向かいました。バスの中で、ボランティア



ガイドの皆さんが、日米両語で、地図と古い写真を見せてくれたながらホノウリウリ収容所について、おおよそ次の内容の事前説明してくれました。「アメリカ軍の管理下で、1943年3月に開設されたホノウリウリは、民間人と戦争捕虜の収容を目的として、使用期間中、およそ400人の民間人と4000人の戦争捕虜を収容していました。

160エーカー(約20万坪)の収容所には、175の建物、14の監視塔、そして400以上のテントがあったと言われています。ホノウリウリに収容された民間人の多くは日系人であり、その中には、経営者、聖職者、学校の校長などで、日系社会における有力者も含まれておりました。その他の収容者の中には、ヨーロッパからの移民を先祖に持つアメリカ人もいましたが、ドイツ系アメリカ人が多数を占めていました。戦争捕虜の収容所として、ホノウリウリには、日本、韓国、台湾そしてイタリアからの敵兵と労働徴収兵が抑留されていました。またここには、太平洋地域から強制退去させられた日本人女性や子供も収容されていました。収容者たちは、暑さと湿気の高い、社会から切り離された場所が、孤立感と不当な投獄への怒りを強めたところから、ここを地獄谷(Hell Valley)と呼んでいました。現在、ホノウリウリ収容所は私有地として立ち入りが制限されています。

説明を聞きながら、バスは小一時間ほどで、オアフ島西側のエバ地区の反対側の山沿いにあるクニア地区の高台に位置する、モンサント社(アグリビジネスの大手会社)のハワイ支社の敷地に入っていく、止まりました。ホノウリウリ収容所跡にはトイレ設備がないので、ここでトイレストップ。正面から見下ろすホノルルは、遙か遠くにダイヤモンドヘッド、その手前には広々とした真珠湾の景色でした。のどかでゆったりとした景観を楽しんだ後、バスは、国立公園のレンジャーが鍵で柵を開けてくれ、彼女が先導する車の後を追ひ、くねくねした赤土のままの道を曲がりながら坂を下り、およそ7～8分ぐらいで谷底に到着しました。辺り一面は、雑木林と雑草以外は何も見えません。突然、ボランティアガイドが、「皆さん、左を見て下さい!」と叫びました。左側の窓の外に、わずかに古いコンクリートの床が目映りました。「ここが収容所にいくつかあったメスホール(食堂)の一つの跡地ですよ。」

そこを過ぎてしばらくして、1920年代に設置されたという約20キロ離れた山からこの辺りのサトウキビ畑に水を引くために作られたという用水路が見える場所でバスを降り、ガイドの説明を聞きながら、ゆっくりとまた先ほどのコンクリート床跡まで散策しました。思わず、芭蕉が詠んだ「奥の細道」の高館跡で、夢と消えてしまった義経主従と藤原三代をしのんで詠んだとされる一句を連想しました。

「夏草や兵どもが夢の跡」でも、ちょっと違うようだ、この場所は華やかさを偲ぶところではないのだから……コンクリートの床跡の

前に全員が集まりました。ガイドさんの口を通して、収容されていた日系人の方々の耐え忍んだ日々の後日談や、後に残された妻や子供たちが収容所を訪ねた時の辛い話などを幾つか聞くことができました。

気が付いたら、前の方でボランティアの方がマイクを用意し、ウクレレを持ち出していました。ガイドの女性の一人は、フラの衣装を身に付け、背後で奏でるウクレレの伴奏と歌に合わせて、私達の前でフラを踊り始めました。曲はウクレレ制作会社コアロハの創業者のアルビン・オオカミさんが作詞・作曲された、「ホノウリウリの歌」でした。静かなでゆったりした曲調を背景に、愛おしい歌が口ずさまれました。長くて辛い収容所の生活を強いられた日系人やその家族を労わるかのような優しい時が流れました。そのあと、ボランティアの方が花びらの入った籠を回してくれ、私たちはそれを手に取り、それぞれ無言で、その花びらを収容所の建物があった跡地と思われる雑木林と雑草ばかりの場所に撒きました。花びらの一部は、小枝の一部に残り、まるで小さな蝶がそこに留まっているかのように覚えました。

ボランティアガイドの話によれば、ハワイの中高校生たちに向けて、ホノウリウリ教育センター(Honouliuli Educational Center)の開設を検討中とか。ぜひこの歴史が忘れられず後世の人々に伝えられてほしいものです。帰りのバスの中で、日系4世と思われるボランティアの素敵な日系人女性が屈託のない明るい声で、「わたしのおじいちゃんはハワイ島から、おばあちゃんはマウイ島からこのオアフ島にやって来ましたの。」などと語る家族の話が耳に入ってきました。いま在る日系3世、4世、5世達の平和で幸せな生活も、過去に1世、2世の人たちの大きな困難、犠牲、頑張りの結果なのだなあ」との感慨を大きくして戻ってきました。

今岡千草さん(会員) — 前から行きたいと思っていたところでした。想像以上に厳しい生活を強いられながら、歌や短歌に希望を見出していた当時の方々を思い、大変よかったです。既に亡くなった義母にもっと当時のことを聞いておくべきであったと後悔が残ります。これから先、世界がいろいろ変化を見せる中で、ハワイにおいて、日本—アメリカが一体どうなるのか、それによって我々の子孫の生活も変わるのかと思おうと不安です。日本の若い人たちにはぜひ見てもらいたい場所です。そして平和とは何か、人権とは何かを考えてほしいと思いました。ハワイは人種のルツボですが、日本は日本人以外に対して



2月9日(火)～2月15日(月)

感動のホノウリウリ見学ツアー 2月11日(木)

- 続き -

排他的なところがありますので、特に世界という目で考えてもらいたい。そして私たちの子孫にも見てもらいたい。

影山穂波さん(ゲスト) — 大変有意義な体験をすることができました。今回行けてよかったです。以前からハワイにおける日系人・日本人に関心をもっており、この場所にはぜひ来てみたかったのですが、なかなか来る機会がありませんでした。たまたまこのイベントを見つけ、参加できて本当に感謝しています。ボランティアガイドのプレゼンテーションが素晴らしい！現地を見ただけではなかなか理解しにくいこともありますが、そこに適切な説明や事例を話してくれたことで理解が深まりました。収容者たちがよんだ短歌をいくつか紹介してもらい、先の見えない不安や、家族を心配する心が伝わってきました。一方で「コロッケの歌」をもじったり、ワインを密造したりという収容者たちのたくましさも感じました。この場所は若い日本人にも見てもらいたい。華やかなリゾートの側面だけでなく、ハワイがどのような土地であり、その中で人々が営んできたのかをすることで理解も深まると思います。

西村洋志さん(会員) — 今回参加できてとてもよかったです。日系の先人たちの計り知れない苦勞、悲しみ、絶望感に少しでも触れることができた感じがします。米国で学生をしていた頃、たまたま立ち寄ったCaliforniaのManzanar強制収容所とは違い、まだまだ知られていないホノウリウリなので、多くの方々が訪れるには少々整備が必要だと思いました。忠誠を誓った国に裏切られた先人たちの絶望感は想像し難いものです。戦争というものは正常な思考能力を持った人をも狂人にしてしまうと改めて感じました。ハワイを訪れる全ての人にこの場所を知ってほしいです。(特に日本人) 他の島々、沖縄、グアム、サイパン、そしてこのハワイには戦争の悲しい歴史が存在することを人々はもっと知るべき。今楽しめるのは、先人たちの苦勞の上に成り立っていることをもっと理解すべきだと思います。それにしてもボランティアガイドさんたちは素晴らしかった！

小林正巳さん/町子さん(夫婦会員) — オアフ島のどこかに第二次大戦中の日系人収容所があったということは以前から耳にしていたのですが、まさかHISLEA主催によるツアーが開催されるとは思っても見なかったので早速参加させていただきました。現地を管理して



いるモンサント社の事務所がある丘の上からは真珠湾やダイヤモンドヘッドまでも見渡せる大変景色の良い場所で、まさかこの場所から遠くない場所に4000名を超える収容者をもつ収容所があったとはとても思えませんでした。収容所跡地は70年の歳月を経た現在は、鬱蒼とした森へと変貌していましたが、それでも各所に当時を髣髴させる遺跡が有り、感動いたしました。戦後53年も経てから探索に着手し、4年も掛けてこの場所を探し出した日本文化センター皆様の努力に敬意を表するとともに、この場所の保全に協力していただいたモンサント社のサポートにも敬意を表します。まだまだ整備が行き届いていないようですので、一般公開されるにはかなりの時間がかかると思いますが、貴重な「国定史跡」ですので、今後も多くの皆さんでサポートして頂きたいものです。ツアーの最後でガイドの皆さんが披露された「ホノウリウリ」という歌とフラにも感動いたしました。HISLEA会員として最後の参加になったこの催しを決して忘れません。

作品「ホノウリウリを訪う」

ベリー恵美子(筆名 石垣篤紅)

まぼろしの強制収容所跡ホノウリウリ今訪わんとてツアーに参加／文献に散見されしも長期間キャンプ地の場所すら確定されず／二〇〇四年度発行の地図には



載っていないホノウリウリという名の跡地／二〇〇七年グーグル地図には表記あり真珠湾北西にホノウリウリと／ホノウリウリの場所特定は困難を極めしと聞くその努力礼賛／ツアー参加は三十三人ホノルルより二台のバスにてハイウェイを行く／市街地を出ずれば視野は広がりて右手(めて)山みどり左手(ゆんで)青海／軍用地のゲートを抜けて基地内のフェンスを越えてバスは谷へと／「地獄谷」と呼ばれし谷の入口に用意され居し蚊除けスプレー／渡されしホノウリウリの拡大地図 米軍事務局・監視塔など／雑草木の生い茂るなか左手(ゆんで)には食堂跡地や用水路跡／バス降りて藪中の用水路跡を踏む林の陰に廃屋ありき／地獄谷とまこと呼ばれし土地ならめ悲嘆、慟哭、諦観あまた／酷暑湿気、蚊に悩まされし地獄谷 同感なりきツアーの我らも／数々の逸話残りぬ日系人の地獄谷にて囚われし日々の／ドイツ人イタリ人も囚われしその慟哭を石らも知るや／ジャングルとなりし跡地の確認は残されし一枚の写真なるらし／食堂跡の部分に残る舗装地が場所確認の決め手なりしと／その昔インター二の詠みし短歌ありいま朗詠が静寂(しじま)にひびく／抑留者を偲ぶ歌曲ありガイドらのウクレレ演奏に和して唄いぬ／歌声は森に弔(こだま)し言霊(ことだま)となりて谷より天に昇るか／抑留者を偲ぶフラあり演奏と歌に合わせてフラダンス美(は)し／花籠より花びら掬いて森に撒く抑留者偲びて一人ひとりが／厳粛に心込めつつ花を撒く繰り返すな戦争と差別の時代／地獄谷より丘に戻れば視野開けダイヤモンドヘッドが海の彼方に／フェンス抜け丘にて臨む真珠湾 空の碧さと空気が和む／帰宅して難民受け入れ反対の欧州のデモをテレビが伝う

大成功の「HISLEA Winter Seminar - Culture & Sports」 - 続き -

2月9日(火)～2月15日(月)

ハワイに長期滞在するVISAとは? 2月11日(木)

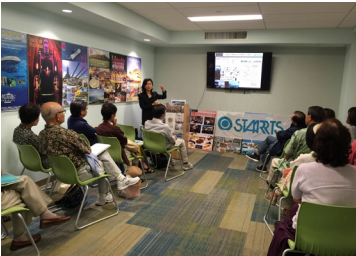
関利明さん(新潟支部長) — 今回このセミナーに参加して、VISAの種類が80種類も存在することを知り、驚きました。そしてImmigrant VISAとNon-immigrant Immigrant VISAの違いを理解することができました。



Non-immigrant VISAはいずれも米国の利益のためにあるということを理解しました。ただ今回のこのセミナーは、HISLEA会員を対象としたセミナーとしては広範囲すぎる感じもしました。起業したい方、企業にお勤めの方が関係するVISAに関しては周知のことだった次第です。そしてもう少し、学生、交流訪問のためのVISA、申請のための基本情報、必要書類などについてお話しされるとよかったです。VISAを発券する大使館、CBP、ESTA、移民局との関係なども説明いただけたとなお良いかと思います。ご説明いただく内容の資料なども配布いただけたと助かります。

ハワイの最新不動産事情 2月12日(金)

米濱鉦二さん(夫婦会員) — 大変参考になりました。ハワイのことを多少は知っていますが、それほど詳しくはありませんし、住んでいるわけでもないので、変化を知りたいと思い参加しました。カアコエリアの開発状況や、建築



予定のコンドミニアム(ヴィダ・アット888)が建築費高騰のため建築計画を取りやめたといった情報、リッツカールトンの建築計画、アラモアナホテルの投資と利回りなど、なかなか聞けない情報だったと思います。今後も同じような企画がある場合は、新しい店の出店情報やレストランの出店・撤退などの情報も聞けるとありがたいです。

Great Aloha Run 2月15日(月)

関根八紘さん(常務理事) — HISLEA Winter Seminarを締めくくべく、Aloha TowerからAloha Stadiumまでの13.1キロを走っ

た人と完歩した人、11名で参加しました。総勢2万2千人が参加したグレートアロハラン、私自身は昨年より5分遅く体力の低下を実感しましたが、87歳の国本さんが3時間を切り、素さんが2時間30分台、それよりも少し早い野田さん、野田さんと同じタイムで悠々と歩いたみずえさん、1時間14分でゴールしたDr.鈴木さん、鈴木さんの奥さんは1時間32分、徳江さんご夫妻は楽しそうにゴールしましたが、やはり奥さんの方が好タイムでした。スタートからゴールまで国本さんに付き添って完歩した古賀さん、皆さん素晴らしいそれぞれのレースだったと思います。残念だったのは、後藤さんが後ろから押されて転倒し少々怪我をされたことです。途中20分近く手当を受けたのにも関わらず2時間以内でゴール、この事故がなければかなりの好タイムだったと思います。レース後は素さんお薦め、チャイナタウンのメイサムに行き、久しぶりに美味しい飲茶を食べて楽しい反省会を持ちました。レースに参加するには少々準備(トレーニング)をするべきだと思いますが、それが健康につながると私は確信しています。皆さん、お疲れさまでした!



マウイ支部

ホトトギス会(句会)

2月13日(土) 神崎洋さん(マウイ支部長)

風邪で欠席者が続出しましたが、予定通り「春の風邪」、「水菜」を兼題に句会を開催することが出来ました。今月の3点句を下記で紹介致します。

- ・春到来日の光にも草木にも(幸)
- ・春の風邪予防接種や期限切れ(まゆみ)
- ・にぎやかに遊ぶ鳥影春障子(まゆみ)
- ・物言えぬ母の目うるみ春の風邪(富貴)

次回は3月19日(土) 11時よりカヒリ・レストランにて「鰯」、「東風」を兼題にして開催予定です。ご健吟ください。

第66回ゴルフ会

2月27日(日) 神崎洋さん(マウイ支部長)

19名が参加し第66回ゴルフ会がカヒリ・ゴルフコースで開催されました。快晴・無風の絶好のゴルフ日和になり好スコアが続出しましたが、John Fergusonさんがグロス74、ハンデ7、ネット67の素晴らしいスコアでV3を飾られました。

Johnさんは優勝スピーチの中で、一緒にラウンドした自分より年長のToshinori Satoさんに常にティーショットで後塵を押し、何とかSatoさんに付いて行こうと奮起した結果が14/15/16番ホールの連続バーディーに繋がり好スコアになったと話されていました。2位には日本からのVisitorで1年振りに参加されたTeppei Okugawaさんがグロス84、ハンデ15、ネット69で入賞されました。3位には札幌雪祭りの雪像作りより先般戻られたKazu Yamanoueさんがグロス94、ハンデ24、ネット70で初のベスト3に

入られました。

①個人順位(敬称略) :

1位 John Ferguson

2位 Teppei Okugawa

3位 Kazu Yamanoue

4位 Kanako Tamaki

5位 Toshinori Sato

②ニアピン(敬称略) :

#6/#8 Kenny Kanzaki

#13 Toshinori Sato

#16 Teppei Okugawa



* なでしこネット句会

2月句会に投稿された句の中から、いい句と思われた句を下記のとおり披露いたします。

「なでしこネット句会」に投句を歓迎します。投句をされる方は、お名前(またはニックネーム)とメールアドレスをつけて、幹事の野田さんnoda@hawaiiisenorlife.orgまでお送りください。4月号の締め切りは3月12日(土)です。

【2月句会の入選句】

- ・浅まだきほころぶ梅に夫(つま)を呼ぶ(嘉代子)
- ・一駅を乗り越している春の屋(由美子)
- ・尾を立てて今宵もどこに猫の恋(笑華)
- ・手籠より葉物あふれて春の市(多代子)
- ・老人の何釣るでなし春の海(洋)
- ・砂浜の足の温もり春立ちぬ(光子)
- ・紅梅のひらく朝や兄往けり(嘉代子)
- ・足跡の深く残りし冬の海(洋)
- ・今夕も外にお出掛け猫の恋(遊子)

* ハワイシニアライフ協会支部のご案内

ハワイシニアライフ協会では、日本の47都道府県を管轄地域といたしまして、以下の様に各支部に振り分けさせていただいております。他支部のイベントにも参加可能です。

①	札幌支部	北海道、青森県
②	秋田支部	秋田県、岩手県、宮城県
③	首都圏支部	東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、山梨県
④	群馬支部	群馬県、栃木県、長野県
⑤	新潟支部	新潟県、山形県、福島県
⑥	石川支部	石川県、富山県、福井県
⑦	名古屋支部	愛知県、岐阜県、三重県、静岡県
⑧	関西支部	滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県
⑨	広島支部	広島県、岡山県、山口県、島根県、鳥取県
⑩	愛媛支部	愛媛県、徳島県、高知県、香川県
⑪	福岡支部	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
⑫	鹿児島支部	鹿児島県、宮崎県、熊本県、沖縄県

医療相談

日本語クリニック

ワイキキ緊急医療クリニック 堀育史院長

Bank of Hawaii Bldg. 3階 ☎ (808) 924-3399

名医による無料健康相談

大山廉平ドクター(会員・顧問/東京都済生会渋谷診療所所長)

Eメールで気軽に相談できます。ご希望の方は、①姓名 ②会員番号 ③返信用Eメールアドレス ④病歴 ⑤相談内容を下記メール宛にお送りください。ご本人のみならず、ご家族お知り合いの方、病氣と断定できないことでも健康のことでしたらなんでもご相談ください。

Eメール: oyama@saichu.jp

HISLEA アロハデスク

場 所: ワイキキショッピングプラザ地下1階トラベルプラザ内
2250 Kalakaua Ave., Honolulu, HI 96815

電 話: 808-428-5808 FAX: 808-396-1140

時 間: 月曜日～金曜日 午前10時～午後3時(祝祭日は除く)

アロハデスク開設に際しまして特別寄付金を募集しております。

お問い合わせとお申し込みはホームページ<http://www.hawaiiisenorlife.org/> または電話 808-428-5808 まで

当協会の概要、入会案内: www.hawaiiisenorlife.org をご覧になるか、パンフレットをご請求ください。

分かち合おうアロハの心

ハワイと日本から世界に向けて

ご寄付をいただきました。ありがとうございました。

(\$50) 永野良夫様、(\$20) 西福幸二様

アロハデスクのためにご寄付をいただきました。

ありがとうございました。

(\$200) 加藤三枝様、(\$100) 金田栄様

(\$100) Kunimoto Harry様、(\$100) 本多孝次様

(\$100) 税理士法人アーク&パートナーズ様

2016年1月1日～1月31日

(編集担当: インフォメーションコミッティ 西村ちえ)

HISLEA広場管理人より www.hawaiiisenorlife.org/Forum

日頃のサポートありがとうございます。最近HISLEA広場を活用してくださる会員が減っており、管理人としては寂しい限りです。毎日の他愛のない出来事でも、最近驚いたことなど何でも構いません!どうか今後ともHISLEA広場をよろしく願います!

米国/ハワイ

インケアハワイ

<http://www.hawaii-refresh.com>

エム・エム・ケーマウイL.P.

<http://kamehamehagolf.com>

オーシャンウィンド不動産

<http://www.oceanwind-hawaii.com>

(株)カйнаハレ・ハワイ

<http://kainahale.com>

クアロアランチ・ハワイ

<http://www.kualoa.com>

サチハワイ不動産会社

<http://www.sachiHawaii.com>

サタケ ホノルル

<http://www.satake-japan.co.jp/ja/about/omusubi.html>

スターツインターナショナルハワイイंक

<http://startshawaii.com>

タチバナエンタープライズ

<http://www.tachibana.com>

(株)東京メガネ

<http://www.tokyomegane.co.jp>

ナシモト&アソシエイツ

<http://www.nashimoto.com>

日刊サン・ハワイ

<http://nikkansan.net/hi/>

(株)日本航空インターナショナル

株式会社ノースアイランド

<http://www.knowsi-land.jp/>

ハレクラニコーポレーション

<http://www.halekulanicorporation.com/>

ハワイファイブオープロパティーズ

<http://www.hi50properties.com>

ファースト・ハワイアン・バンク

<https://www.fhb.com>

フォガティ不動産

<http://www.fogartyhawaii.com>

本田開発興業(株) パールカントリークラブ

<http://pearlcc.com/>

読売アメリカ Y.U.S., Inc.

リーバンズコーポレーション

<http://www.shurojp.com>

JTBハワイ

<http://www.jtb-hawaii.com>

ファーストファウンデーションバンク

<http://www.ff-inc.com/>

R. Sakai Company

リゾートハワイ不動産

<http://www.resorthawaii.us>

レストラン吉家

<http://jp.sheraton-waikiki.com/yoshiya.htm>

Wincubic. com dba Aloha Street

<http://www.wincubic.com>

日本

(株)アクセス

<http://www.access-jp.jp/>

税理士法人 アーク&パートナーズ

<http://www.the-arcist.com/>

医療法人社団 愛聖会

<http://www.aiseikai.net/>

(株)ウェルホールディングス

<http://www.wellholdings.co.jp/>

(株)ジェイティービー

<http://www.jtbcorp.jp/>

(株)椒房庵

<http://www.shobo-an.co.jp/>

(株)宝人

<http://www.takarabito.com>

(株)十勝毎日新聞社

<http://www.tokachi.co.jp/>

社会福祉法人 八生会

<http://www.hashoukai.or.jp/>

株式会社ベルマネージメントワイズ

<http://www.belle.co.jp>

(株)ライフイズ

<http://www.life-is.co.jp/>

リストインターナショナルリアルティ(株)

<http://www.listsothebysrealty.co.jp/>

(株)リフレッシュ

<http://www.refresh-group.co.jp/>

ワールドファイナンシャルコンサルタンツ

<http://www.wfc.asia/>

(株)JTB九州

http://www.jtbcorp.jp/jp/jtb_group/kys/

2016年アメリカ大統領選の行方やいかに？

「なぜヒラリー・クリントンが大統領にしないのか？」(講談社+α新書)
の著者より、大統領選の仕組みや見どころを含め解説いただく

講師：ジャーナリスト 佐藤則男(ニューヨーク在住41年)

(主催：NPOハワイシニアライフ協会 / 協力：日本クラブ)

＜講演会＞

- 【日時】 2016年4月7日(木) 5:30pm～6:30pm
- 【場所】 ワイキキ・ヨット・クラブ 1599 Ala Moana Blvd., Honolulu, HI 96814
- 【会費】 HISLEA会員及び日本クラブ会員 \$5 / その他の方 \$15
- 【定員】 60名 (定員に達しましたら締切りますのでお早めにお申し込みください。)
- 【お申込み】 HISLEAのウェブサイト(URL: <http://www.hawaiiisenorlife.org>)
またはアロハデスク(☎: 808-428-5808)まで
- 【申込期限】 4月5日(火)までに必着
- 【その他】 講演会当日、著者のサイン入り著書を20冊(1冊 \$15)限定販売いたします。
数に限りがありますのでお早めにお買い求めください。

尚、講演会の後、講師の佐藤則男氏を囲み、人数を限定しての(先着20名)懇親会を下記の通り開催しますので、参加希望者は同時にお申し込みください。

＜懇親会＞

- 【時間】 6:30pm～8:00pm
- 【参加費】 会員・非会員共に \$30 (飲み物、軽食を含む)
- 【定員】 20名
- 【その他】 お申込み方法、及び申込期限は上記と同じです。

佐藤則男(さとうのりお)氏 プロフィール

早稲田大学を卒業し、1971年に朝日新聞英字紙 Asahi Evening News (現International Herald Tribune/The Asahi Shimbun) 入社。その後、TDK本社勤務、ニューヨーク勤務を経て、1983年国際連合予算局に勤務。のちに国連事務総長に就任するコフィ・アナン氏の下で働く。1985年、パートナーと国際ビジネスコンサルティング会社、Strategic Planners International, Inc., ニューヨーク州法人を設立。アメリカ企業、日本企業をクライアントに、マーケティング、日米市場進出、M&A、投資などのビジネス戦略立案、および実施などを担う。同時にジャーナリズム活動に復帰。「文藝春秋」「SAPIO」などにNY発の鋭い分析を基にした記事を寄稿。米国コロンビア大学経営大学院卒。MBA取得。



在米41年
佐藤則男氏

なぜ
ヒラリー・クリントンを
大統領にしないのか？

ジャーナリスト
佐藤則男

